

事例⑥ 中学3年生 Gさん
 (実態把握表、「個別指導計画」を作成し、シート3を活用して「個別の教育支援計画」を作成した事例)

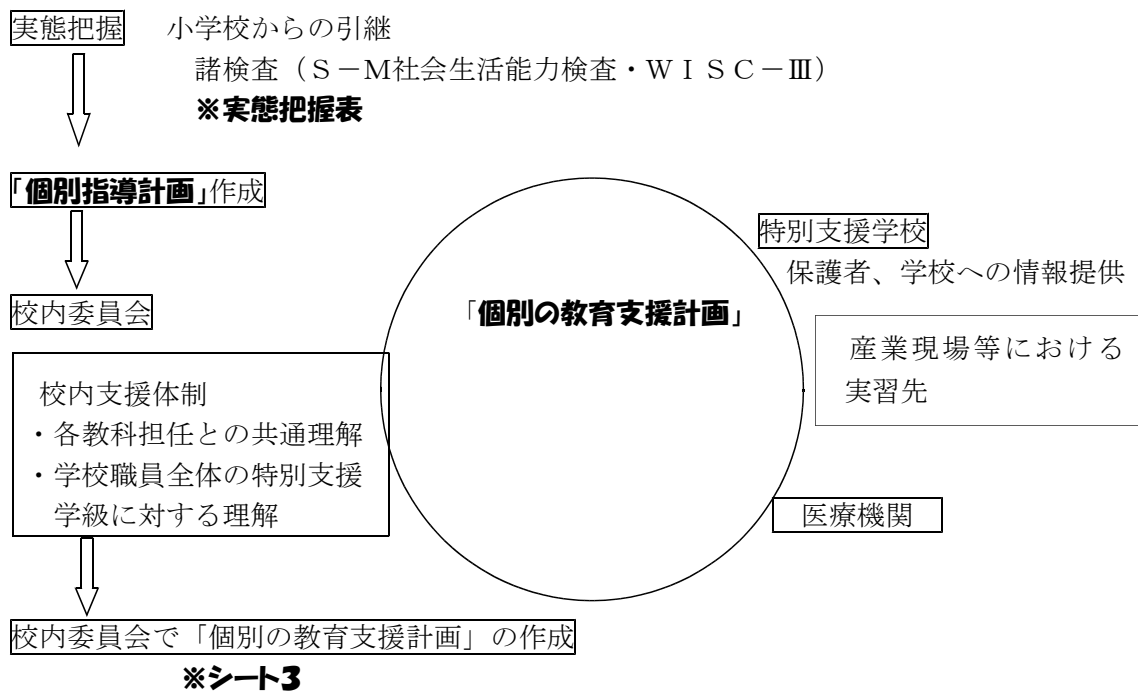
《児童生徒の様子と保護者や担任の願い》

Gさんは、知的障害特別支援学級に在籍している中学3年生です。

基本的な生活習慣はほぼ身につけていますが、衣服の着脱や食事等の細部では確認と支援が必要です。言葉の遅れが見られますが、決まった挨拶は進んでいき、自分がやりたいことは言葉で表現することができます。保護者は、言葉をゆっくりと発音し、相手にきちんと意思伝達ができるようになってほしい、TPOに応じて挨拶ができるようになってほしいと願っています。また、言葉でのコミュニケーションが自信を持ってできるようになってほしいと思っています。

本人、保護者とも特別支援学校への進学を希望しているので、担任は保護者と話し合い、特別支援学校への見学や体験入学を行いました。また、将来の就労に向け産業現場等における実習を計画的に行ってきました。

《「個別の教育支援計画」作成までの流れ》



「個別の教育支援計画」

- ・実態把握表
 - ・「個別指導計画」
- ・シート3 (校内委員会での検討)
 -